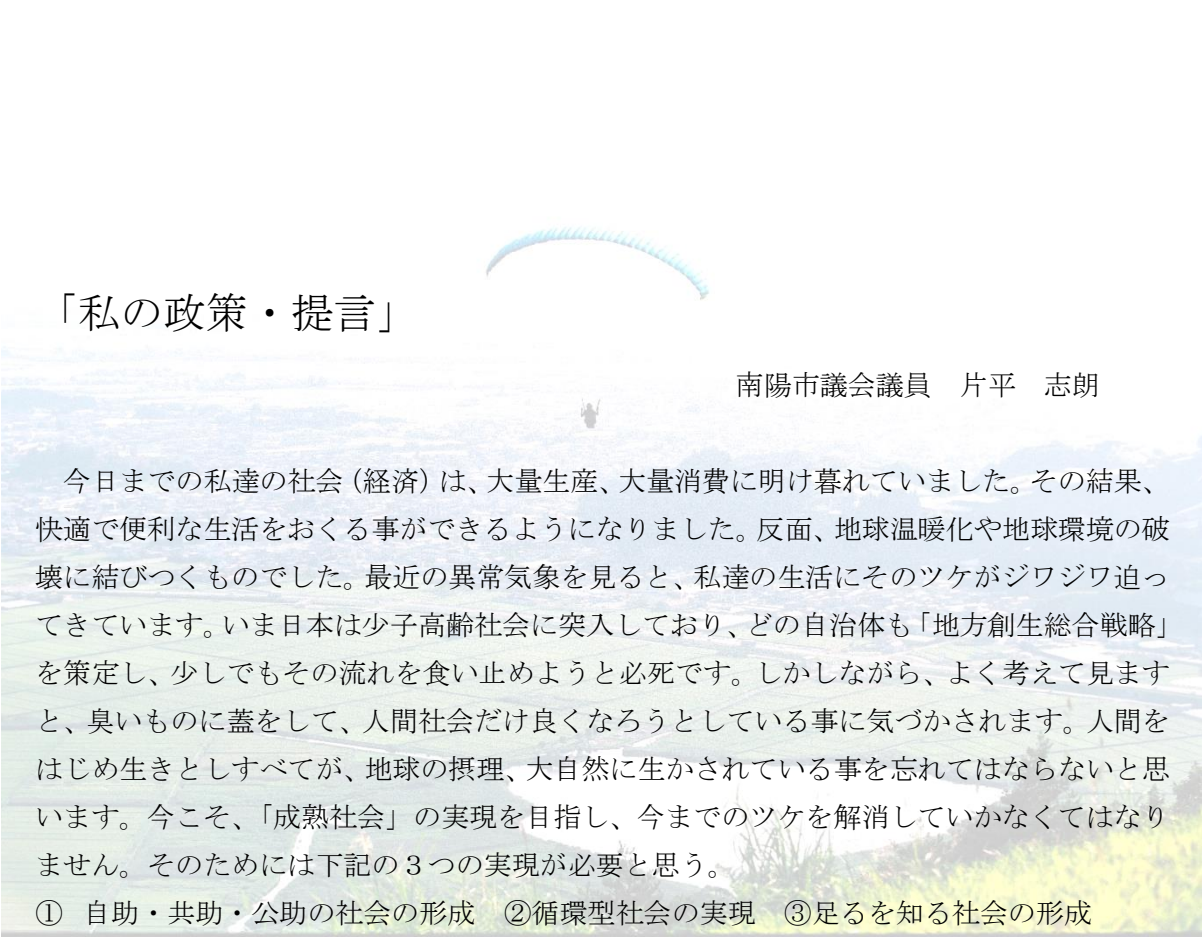




「私の政策・提言」

南陽市議会議員 片平 志朗

今日までの私達の社会（経済）は、大量生産、大量消費に明け暮れていました。その結果、快適で便利な生活をおくる事ができるようになりました。反面、地球温暖化や地球環境の破壊に結びつくものでした。最近の異常気象を見ると、私達の生活にそのツケがジワジワ迫ってきています。いま日本は少子高齢社会に突入しており、どの自治体も「地方創生総合戦略」を策定し、少しでもその流れを食い止めようと必死です。しかしながら、よく考えて見ますと、臭いものに蓋をして、人間社会だけ良くなろうとしている事に気づかされます。人間をはじめ生きとしすべてが、地球の摂理、大自然に生かされている事を忘れてはならないと思います。今こそ、「成熟社会」の実現を目指し、今までのツケを解消していかなくてはなりません。そのためには下記の3つの実現が必要と思う。

① 自助・共助・公助の社会の形成 ②循環型社会の実現 ③足るを知る社会の形成

「最近思うこと」

私は中学生から「剣道」を続けております。今も子供たちと一緒に稽古をして汗を流しております。あのか弱かった子供たちがいつの間にか、強く逞しく成長している姿を見ると、剣道を続けて良かったと心から思います。剣道はもともと日本の中で生まれて育まれた武道（スポーツ）ですが、その教えの中で「正義」「廉恥」「礼節」を重んじます。今、日本人が忘れ去ろうとしている「日本の心」は、この3つではないでしょうか。子供たちがどうのこうの言う前に、私達大人が、この「日本の心」に沿った姿を見せることによって、おのずと感化され成長していくのだと思います。

「私の好きな言葉」

継続は力なり・・・続けることによって力が備わり、道が開ける。

積小為大・・・小さな事を積み重ねていけば、やがて大きな事ができる。

「尊敬する人」

比嘉 輝夫・・・EM（有用微生物群）の開発者

坂村 真民・・・詩人・あとから来る者のために・・・